

貯 法 室温保存

合成ビタミンE製剤

メイロング®

Meilong®

for animal use

ビタミンE (α -トコフェロール) は抗不妊因子として発見された脂溶性ビタミンであるが、近年に至り、細胞膜などの生体膜安定化作用及び過酸化物生成の抑制作用が立証された。これらの作用は、各種動物のホルモン分泌・妊娠機能、骨格筋・心臓筋肉機能、肝臓代謝機能、脂肪代謝機能、循環器機能などの維持・改善に重要な役割を果たしている。本剤はこの α -トコフェロールを安定性の優れたアセテートタイプにしたビタミンE製剤である。

成分及び分量

1g中に日局トコフェロール酢酸エステル100mg(ビタミンE100国際単位)を含有する。

効能又は効果

1 ビタミンEの補給

2 ビタミンE欠乏による下記疾病(症状)の予防と治療

- 馬 : 運動器障害、白筋症
 牛 : 運動器障害、白筋症、繁殖障害、脂肪壊死症
 豚 : 運動器障害、マルベリーハート症、肝障害、黄色脂肪症、繁殖障害
 犬 : 運動器障害、筋ジストロフィー症、繁殖障害
 猫 : 運動器障害、筋ジストロフィー症、黄色脂肪症
 ミンク : 運動器障害、筋ジストロフィー症、黄色脂肪症、繁殖障害
 鶏・うずら・七面鳥 : 脳軟化症、浸出性素因、運動器障害、筋ジストロフィー症、繁殖障害、肝障害

3 魚類のビタミンEの補給

魚類のビタミンE欠乏による疾病(症状)の予防と治療

動物	ビタミンEの補給及びビタミンE欠乏による疾病(症状)の予防	ビタミンE欠乏による疾病(症状)の治療
牛	飼料(乾物)1kg当たり15~150mg 又は1頭1日当たり、子牛15~500mg、成牛100~1,000mg	1頭1日当たり、子牛500~2,000mg、成牛1,000~10,000mg
豚	飼料(乾物)1kg当たり10~150mg 又は1頭1日当たり、子豚・肥育豚5~200mg、成豚25~500mg	1頭1日当たり、子豚200~500mg、成豚500~2,000mg
犬	飼料(乾物)1kg当たり20~100mg 又は1頭1日当たり、2~50mg	1頭1日当たり、50~300mg
猫 ミンク	飼料(乾物)1kg当たり30~400mg 又は1頭1日当たり、1~40mg	
鶏 うずら 七面鳥	飼料(乾物)1kg当たり10~68mg 又は1羽1日当たり、幼雛0.1~2.0mg、中雛0.5~5.0mg、大雛・成鶏1.0~10.0mg	飼料(乾物)1kg当たり68~680mg 又は1羽1日当たり、幼雛2~20mg、中雛5~50mg、大雛・成鶏10~100mg
魚類	魚体重1kg当たり1日量ビタミンEとして1~100mgを飼料に混ぜて連続投与する。	

用法及び用量

トコフェロール酢酸エステルとして下記の量を飼料に混和して経口投与する。ストレスの程度や症状に応じて用量及び投与期間を適宜増減する。

ご参考:「メイロング」としての用量は次のとおりです。(飼料はすべて乾物をあらかず)

動物	ビタミンEの補給及びビタミンE欠乏による疾病(症状)の予防	ビタミンE欠乏による疾病(症状)の治療
馬	飼料(乾物)1kg当たり15~150mg 又は1頭1日当たり、子馬15~150mg、成馬100~1,000mg、競走馬1,000~2,000mg	1頭1日当たり、子馬1,000~2,000mg

動物	ビタミンEの補給及びビタミンE欠乏による疾病(症状)の予防	ビタミンE欠乏による疾病(症状)の治療
馬	飼料混和率0.015~0.15%(飼料20kgにつき3~30g) 又は1頭1日当たり、子馬0.15~1.5g、成馬1~10g、競走馬10~20g	1頭1日当たり、子馬10~20g

動物	ビタミンEの補給及び ビタミンE欠乏による 疾病(症状)の予防	ビタミンE欠乏による 疾病(症状)の治療
牛	飼料混和率0.015~0.15% (飼料20kgにつき3~30g) 又は1頭1日当たり、 子牛0.15~5g、 成牛1~10g	1頭1日当たり、 子牛5~20g、 成牛10~100g
豚	飼料混和率0.01~0.15% (飼料20kgにつき2~30g) 又は1頭1日当たり、 子豚・肥育豚0.05~2g、 成豚0.25~5g	1頭1日当たり、 子豚2~5g、 成豚5~20g
犬	飼料混和率0.02~0.1% (飼料20kgにつき4~20g) 又は1頭1日当たり、 0.02~0.5g	1頭1日当たり、 0.5~3g
猫 ミンク	飼料混和率0.03~0.4% (飼料20kgにつき6~80g) 又は1頭1日当たり、 0.01~0.4g	
鶏 うずら 七面鳥	飼料混和率0.01~0.068% (飼料20kgにつき2~13.6g) 又は1,000羽1日当たり、 幼雛1~20g、 中雛5~50g、 大雛・成鶏10~100g	飼料混和率0.068~ 0.68% (飼料20kgにつき 13.6~136g) 又は1,000羽1日 当たり、 幼雛20~200g、 中雛50~500g、 大雛・成鶏100~1,000g
魚類	魚体重1kg当たり、 0.01~1g	

使用上の注意

(基本的事項)

1 守らなければならないこと

【一般的注意】

- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤を魚類に用いる場合は、魚類のビタミンE欠乏による疾病(症状)の治療又は予防するために使用すること。

【取扱い及び廃棄のための注意】

- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 本剤の色に異常が認められた場合には使用しないこと。
- 本剤は、よく振り混ぜてから使用すること。
- 本剤を数回に分けて使用する場合には、すみやかに使用すること。
- 開封後は吸湿しないように封をして、小児の手の届かないところに保管すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの空容器等は、地方公共団体条例等に従い適切に処分し、他に流用又は転用しないこと。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2 使用に際して気を付けること

【対象動物に関する注意】

- 本剤の投与前には健康状態について観察し、異常が認められた場合には使用しないこと。
- 期待する治療又は予防効果が得られないことや思わぬ副作用が発生するおそれがあるので、本剤には、他の薬剤を加えて使用しないこと。
- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 鶏、七面鳥においてビタミンE大量投与下(30、150mg/kg)でワクチン等による抗体産生能が低下するとの報告がある。

包 装

マイロング..... 1kg

【製品情報お問い合わせ先】

明治アニマルヘルス株式会社 営業部
〒860-8568
熊本市北区大窪一丁目6番1号
TEL:096(345)6505
FAX:096(345)7879
<https://www.vet.meiji.com/>

販売元

meiji 明治アニマルヘルス株式会社

熊本市北区大窪一丁目6番1号

製造販売元



株式会社 科学飼料研究所

東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記「製品情報お問い合わせ先」に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。